

地域医療学

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	0人
病院教授	0人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	1人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	2人
合 計	3人

1-2 教員の異動状況

山岡 泰治	特任教授	H19.10.1~H20.7.31	特任准教授、H20.8.1~ 現職
原岡 智子	特任助教	H21.4.1~ H25.3.31	

2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1)研究・開発等のテーマ名	中東遠および志太榛原の両二次医療圏の病院運営の安定化に向けた研究
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略	中東遠医療圏および志太榛原医療圏は、静岡県内でも特に医師をはじめとする医療スタッフの不足が深刻化している地域である。研究対象地域内の公立病院をはじめとする医療機関などを対象に文献および訪問調査に基づく分析を行い、医療機関の経営の課題や安定的な運営を図る上で障害となっている要因、さらには医療・福祉・介護の質の高い連携を図ることによって入院・外来・在宅医療の充実を図るために解決すべき課題を分析した。
	(3)前年度までの状況	これまでの成果をもとに、公立病院の経営に関わる委員会等において、その病院の機能を活かした運営計画の策定に参画した。
	(4)当該年度内の進捗	平成28年3月に策定された静岡県地域医療構想との整合性を確保しつつ、病床機能の適正化を行うための方策を検討した。
	(5)翌年度の方針と予想	今後、超高齢化社会の進展に伴い、医療と介護の連携の必要性がさらに高まる。地域の包括的な支援・サービス体制の構築も視野に入れた病院機能の在り方について検討を進める。
2	(1)研究・開発等のテーマ名	地域医療を育む住民活動のネットワーク化の推進
	(2)研究・開発等の背景、目的、内容の概略	地域医療を育む主人公は、病院や診療所の医療従事者、行政・議会、教育機関、住民の4人である。このうち「住民」に直接アプローチし、地域医療を共に育む活動に取り組む住民グループの設立、その後の活動の継続、およびネットワーク化を進めた。こうした住民グループは、地域で安心して生活するために「みんなで地域医療のことを考え、共に育む」ことが必要であることを自覚し、自分たちにできることを実行している。すなわち、社会保障制度改革国民会議報告書(平成25年)が必要性を訴えた「国民の協力と意識の変化」、そして医療法第6条の2第3項が規定する「国民の責務」を住民レベルで促進する取り組みを主体的に行うことに繋がるものである。
	(3)前年度までの状況	当講座が寄附講座として開設された平成19年度において静岡県内で活動する住民グループは0団体であったが、平成27年度末時点で9団体にまで拡大した。また、こうした団体のネットワーク化を推進するために地域医療支援ネットワーク協議会を設立して定期的に(半年に1回の頻度で)開催することにより、活動する住民が地域医療に関する学習を深めたり、活動状況を共有したりすることが可能になるよう図った。
	(4)当該年度内の進捗	住民グループの新たな設立とともに、住民が地域医療を育む主人公の一人として、 (1)自分自身と上手につき合う(心身の健康を自分自身で守る)こと (2)医療機関(病院・診療所)と上手につき合う(医療の専門家に対し敬意と感謝の気持ちを表すとともに、地域の大切な医療資源に適切にアクセスする)こと という2つの行動を自発的にとるよう啓発する事業に注力した。そのために必要な啓発ツールを新たに作成するとともに、住民から住民へ啓発するシンポジウムを住民グループとの共催事業として県内で開催した。併せて、地域医療支援ネットワーク協議会を上記の4人の主人公の交流の場として活用することにも取り組み、関係者の対話を進めた。
	(5)翌年度の方針と予想	今後、全国で活動している地域医療を育む住民活動グループとの交流を進め、地域の医療機関と住民とが地域の医療提供体制の現状と将来の姿についての共通認識を形成する取り組みを深化させ、静岡県に相応しい地域医療を育むための住民活動を進める。

3 論文, 症例報告, 著書等

	平成28年度
(1)原著論文数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(2)論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3)総説数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4)著書数(うち和文のもの)	0編 (0編)
(5)症例報告数(うち和文のもの)	0編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.000

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0件

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1)科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	0件	0万円
(2)厚生労働科学研究費	0件	0万円
(3)日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	0件	0万円
(4)科学技術振興機構(JST)による研究助成	0件	0万円
(5)他政府機関による研究助成	0件	0万円
(6)財団助成金	0件	0万円
(7)受託研究または共同研究	0件	0万円
(8)奨学寄附金	0件	0万円

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1)国際学会	(2)国内学会
1)基調講演・招待講演回数	0件	0件
2)シンポジウム発表数	0件	0件
3)学会座長回数	0件	0件
4)学会開催回数	0件	0件
5)学会役員等回数	0件	0件
6)一般演題発表数	0件	

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1)外国	(2)国内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0件	0件

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1)国際共同研究	0件

(2)国内共同研究	0件
(3)学内共同研究	0件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0件

11 受賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

1. 住民が育む地域医療を紹介 山岡泰治特任教授が基調講演 静岡新聞 平成28年4月24日(日)

13 その他の業績

1. 静岡県からの委託事業として、医療と介護に関するシンポジウムを開催した。
事業名:医療と介護の総合的な確保に向けてのシンポジウム開催事業
相手方名:静岡県
対象者:一般(参加数 197人)
場 所:藤枝市 ホテルオーレ
日 時:平成28年11月23日 13:30~15:30
内 容:医療と介護の適切な利用を啓発するシンポジウムの開催および啓発資料の作成
2. 認知症ケア多職種連携のための研修会において講師を務めた。
名 称:認知症ケア多職種連携のための研修会
主催者:磐田市医師会
参加対象者:磐田市内の医師・看護師・薬剤師・ケアマネ等(参加数 85人)
場 所:磐田市役所 大会議室
日 時:平成29年2月9日 19:00~21:00
内 容:認知症ケアに対応するための多職種連携体制を整備するための研修会において、「多職種連携を進めるために必要なこと」を題する講演を行った。
3. 原子力災害医療に関する研修会において講師を務めた。
名 称:原子力災害医療研修会
主催者:市立御前崎総合病院
参加対象者:市立御前崎総合病院勤務の医師・看護師等(参加数 80人)
場 所:市立御前崎総合病院
日 時:平成28年10月5日 13:30~16:15
内 容:原子力災害医療に関する研修会において、基本的な考え方、救急医療との相違点、従事する上での注意点等に関する講師を務めた。
4. 「地域医療を考える月間」を推進する事業として、地域医療シンポジウムを主催した。
名 称:地域医療シンポジウム「みんなで育む地域医療」
主催者:地域医療学講座, 静岡県西部保健所, 森町病院友の会, NPO法人プライツ, f.a.n.地域医療を育む会, 御前崎市地域医療を育む会, 地域医療いわた, 菊川市地域医療を守る会
後援者:磐田市立総合病院, 中東遠総合医療センター, 市立御前崎総合病院, 菊川市立総合病院, 公立森町病院 等
参加対象者:市民 (参加数 204人)
場 所:森町文化会館 小ホール
日 時:平成28年9月22日13:30~15:30
内 容:地域医療を考える月間の推進事業としてシンポジウムを企画・開催し、「超高齢社会に対応する新しい地域医療」と題する講演を行った。
このシンポジウムを通して、地域住民が地域医療をともに育む一人として自覚し、活動することの重要性について啓発した。
5. 「地域医療を考える月間」を推進する事業として、超高齢社会における地域医療をテーマとする講演を行った。
名 称:地域医療講演会「地域医療を考える」
主催者:島田市地域医療を支援する会
参加対象者:市民 (参加数 150人)
場 所:島田市横井町公民館
日 時:平成28年9月24日 14:00~16:00
内 容:地域医療を考える月間の協賛事業として講演会を企画・開催し、「超高齢社会と地域医療」と題する講演を行った。
この講演会を通して、地域住民が地域医療をともに育む一人として自覚し、活動することの重要性について啓発した。

・健康生きがいがづくりへの取り組みと住民による地域医療を育む活動に関する啓発のための講演を行った。

名 称：静岡県健康生きがいがづくりアドバイザー協議会第13回定時総会

主催者：静岡県健康生きがいがづくりアドバイザー協議会

参加対象者：同協会会員（参加数 40人）

6. 場 所：静岡県男女共同参画センター あざれあ

日 時：平成28年5月7日 13:30～16:30

内 容：静岡県健康生きがいがづくりアドバイザー協議会第13回定時総会において、「健康いきがいがづくりと地域医療」と題する講演を行った。

この講演において、健康生きがいがづくりへの取り組みと地域住民による地域医療を育む活動の関係について啓発した。

・静岡県内で地域医療を育む活動を展開している住民グループが共に学習し交流することにより、情報の共有化、活動の活発化、ネットワーク化を図ることを目的とする協議会を企画・運営した。

名 称：地域医療支援ネットワーク協議会

主催者：地域医療学講座

参加対象者：市民（参加数 各回約70人）

7. 場 所：掛川グランドホテル

日 時：平成28年5月13日15:30～17:30、平成28年11月10日15:30～17:30

内 容：静岡県内で地域医療を育む活動を行っている住民団体のネットワークを構築し、それぞれの活動を活発化するとともに育む活動を県域全体へ拡大することを目的とした会合を企画・運営した。

テーマ

①6月：地域包括ケアシステムおよび認知症の人が暮らしやすい街の構築

②12月：地域医療を育む輪を拡げる行動計画の作成